

2024 年度の廃棄物の最終処分量および再資源化率に関するフォローアップ調査結果

1. 目標

当会では、1996 年に「日本ゴム工業会環境保全に関する自主行動計画」を制定しましたが、このうち循環型経済社会の構築に関して、以下の目標を設定し、実現に取り組んでいます。

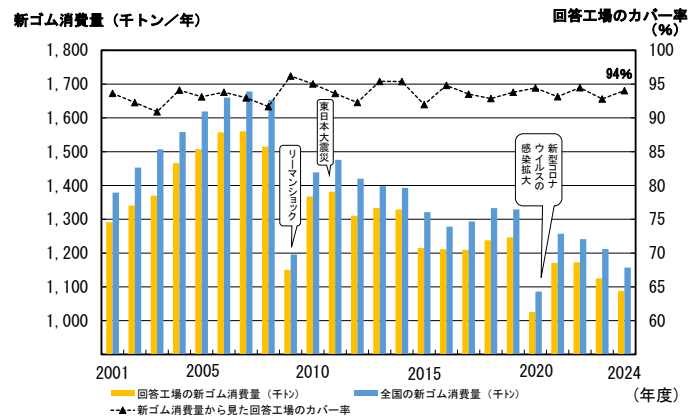
- ① ゴム製品製造工場から発生する廃棄物について、減量化、再資源化、適正処理を推進し、最終処分量を 2001 年度の実績をベースにして、2025 年度まで 95%以上削減を維持する。
- ② 資源循環の質を高める取組として 2025 年度まで廃棄物の再資源化率 85%以上を維持する。
- ③ 海洋プラスチック問題への対応およびプラスチック資源循環の推進を目的として、「2030 年度目標：廃プラスチック類の再資源化率 85%以上を維持する」を定め、実現に取り組む。

2. 新ゴム消費量およびカバー率の推移

回答工場の新ゴム消費量を基に全国の新ゴム消費量に対するカバー率を算出し、全国推計値として補正しています。2024 年度のカバー率は 94%となりました。

年度	2001	2005	2010	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
調査回答工場数	156	140	129	139	141	138	130	124	125	122	124	125	135
回答工場の新ゴム消費量 (千トン)	1,291	1,508	1,367	1,215	1,212	1,210	1,238	1,247	1,026	1,171	1,172	1,125	1,088
新ゴム消費量 (千トン) ※	1,379	1,619	1,439	1,321	1,278	1,293	1,333	1,329	1,086	1,257	1,241	1,212	1,157
新ゴム消費量から見た回答工場のカバー率	94%	93%	95%	92%	95%	94%	93%	94%	94%	93%	94%	93%	94%

※全国の新ゴム消費量は、当会策定の「新ゴム消費量」(1~12月)を採用している。

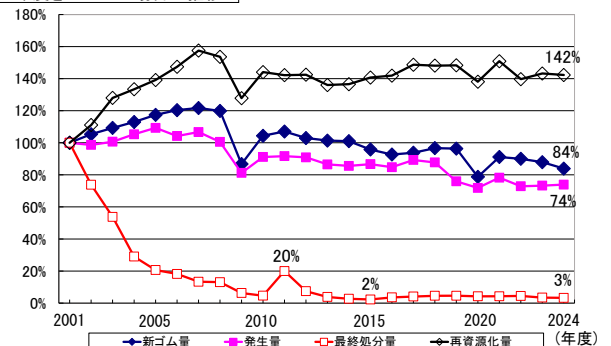


3. 廃棄物の発生量および処理方法別処理量の推移

(単位：トン/年度)

年度	発生量	最終処分量	再資源化量	売却量
2001	230,963	46,198	109,829	25,635
2005	252,426	9,531	152,826	38,785
2010	207,740	2,115	158,253	38,023
2015	200,208	1,045	154,530	43,689
2016	195,796	1,644	155,826	42,411
2017	206,201	1,896	163,287	44,889
2018	202,668	2,103	162,665	49,030
2019	175,360	2,119	162,910	45,702
2020	165,940	1,946	151,660	44,181
2021	180,707	1,971	165,722	48,725
2022	168,307	2,055	153,406	48,870
2023	169,251	1,583	157,285	52,099
2024	170,665	1,512	156,263	53,049
2001年度と比べた増減	▲26.1%	▲96.7%	+42.3%	+106.9%

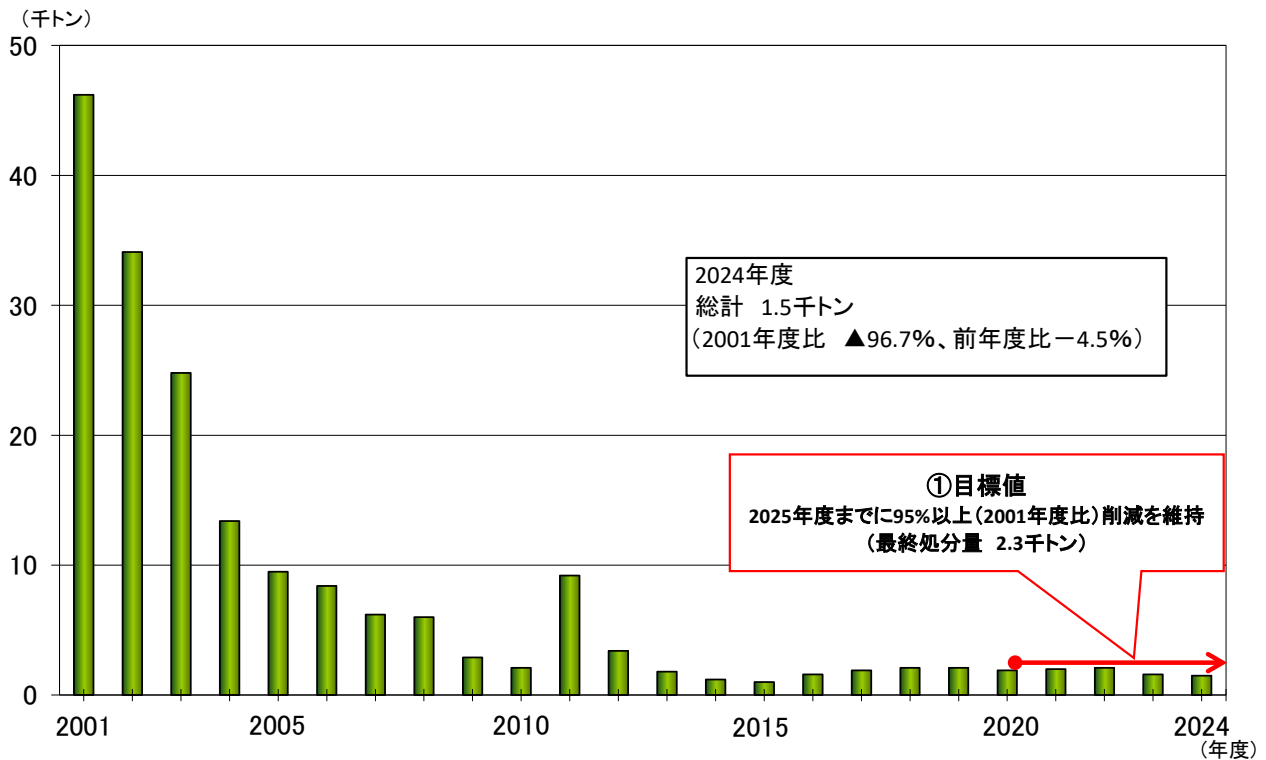
2001年度を100とした場合の推移



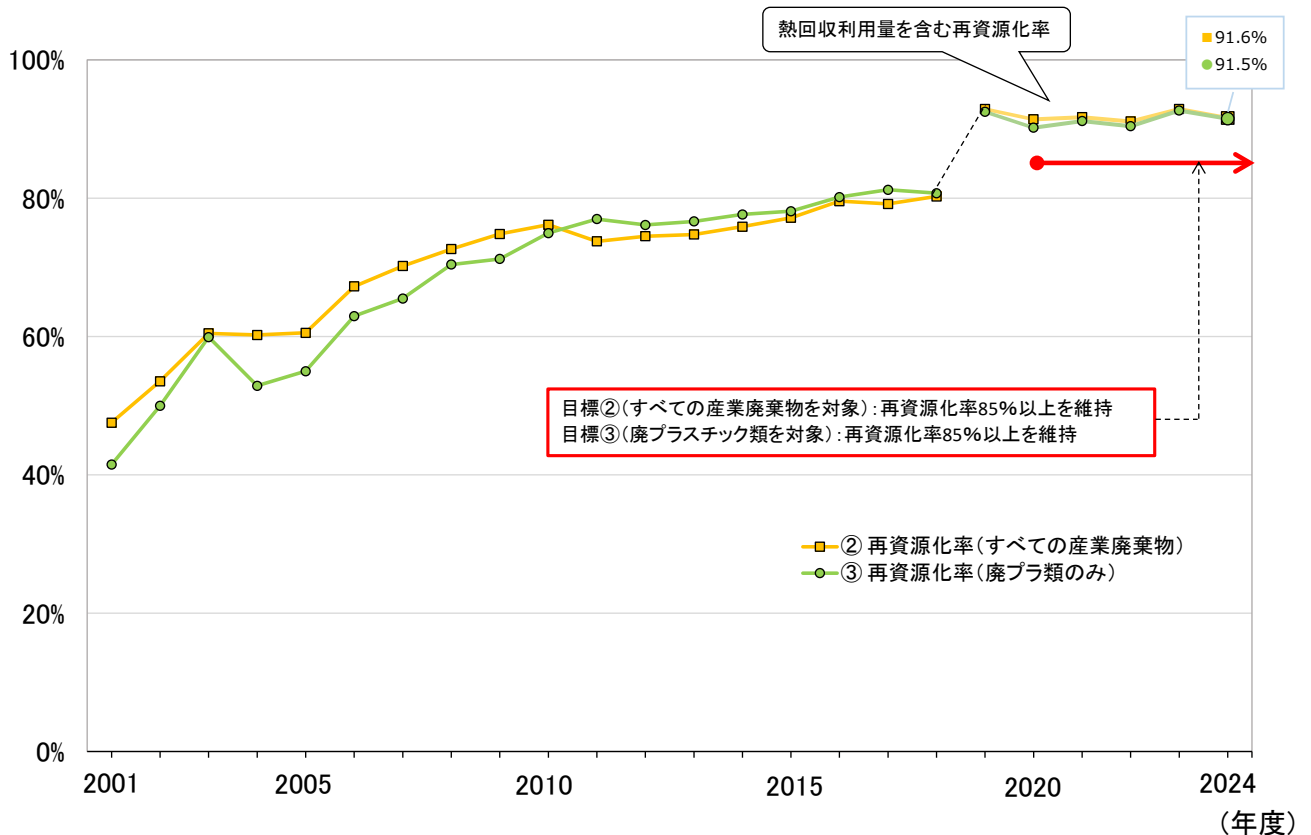
注)

- ①発生量…ゴム製品製造工場から発生した廃棄物量(製品廃棄物を含む)。
- ②最終処分量…廃棄物を直接最終処分した量および自社で焼却等の中間処理をした後の残渣を最終処分した量の総量。
- ③再資源化量…廃棄物を再資源化した量および自社または外部で中間処理した後の残渣を再資源化した量の総量とし、2019年度より有効に熱回収されているもの(燃料利用も含む)を含める。
- ④発生量等の数値は、ゴム工業会会員企業を対象に行った調査結果を新ゴム消費量に基づくカバー率で補正し、全国値として推計している。

4. 最終処分量の推移



5. 再資源化率の推移



※再資源化率＝再資源化量/発生量

※2019年度の実績から、有効に熱回収されているものは（燃料利用も含む）再資源化に含めている。

6. まとめ

- ①全国の新ゴム消費量※は 1,157 千トン（前年度比－4.5%）、回答工場分の新ゴム消費量は 1,088 千トン（同－3.3%）となり、カバー率は 94%となりました。
- ②廃棄物発生量は、170,665 トン（前年度比＋0.8%）となりました。
最終処分量は、1,512 トン（同－4.5%）、目標の基準年度である 2001 年度に対し 96.7%の削減
[目標達成]となりました。
- ③廃棄物発生量に占める再資源化量は、156,263 トンで再資源化率は 91.6%[目標達成]となりました。
そのうちの廃プラスチック類の再資源化量は、102,500 トンで再資源化率は 91.5%[目標達成]となりました。

廃棄物の発生量抑制をはじめとして、廃棄物の処理方法の見直し等の取組みを継続的に行い、再資源化を推進しました。最終処分量削減率、再資源化率（産業廃棄物全体、廃プラスチック類）ともに目標を達成しましたが、引き続き、本目標達成を目指し活動を推進していきます。

※ 日本ゴム工業会策定の「新ゴム消費量」による。